

シリーズ

タケノコ医者はやブの中

～本日も奮闘中～

文・写真 秋葉 美樹

診療所だより

第四三四号（7月号）

発行 (医) 宏友会
上田診療所
酒田市上野曾根
字上中割73番地
TEL.0234-27-3306
責任者 矢島恭一

我が家にある梅の木は、おおよそ一年おきに大量の実をつけてくれます。今年は当たり年(の筈)なので、収穫も大仕事(の筈)です。そして収穫時期については、ある程度黄色くなってから収穫して、やわらかい梅干しを作りたい実家の父と、青いうちに収穫して、梅シロップや固めの梅干しを作りたい我が家との間で、駆け引きが勃発します。それならば我が家と実家とで時期をずらして別々に収穫すればよい話なのですが、我が家分の実を収穫した後に、齢90の父に一人で作業させる訳にもいかず、結局我々が手伝う羽目に



なってしまうのがオチです。そこで父が「今日梅をもぐ！」と宣言した日に、父の指導監督のもと妹と私と旦那で、木の上の方になっっている実まで梯子を使って残らず収穫することになるのです。

収穫した梅はきれいに洗ってへタの部分を取り、梅シロップや梅干しにします。梅干しは旦那、梅シロップは私の担当です。梅シロップは保存がきかないもののなかなか重宝で、炭酸で割って夏の健康ドリンクにしたり、かき氷にかけたりします。また、シロップを焼酎と炭酸で割れば梅酒ソーダになります。梅干しはおむすびやお茶漬の具にしたり、冬場には焼酎のお湯割りに入れます。旦那の作る梅干しも、私の作る梅シロップも年々クオリティーが上がっており、今年ほどのような出来になるのか楽しみです。

余談ですが、あきば



クリニックのロゴマークは梅がデザインされています。そんな訳でクリニックの看板の後ろには梅の木が植えてあります。こちらの梅は植えて8年になりましたが、今のところ花は咲けども実はついておりません(泣)。この木に実がなる頃には私もタケノコからヤブくらいには進歩しているのでしょうか?! 果たしてそれはいつになるやら…

(次号もお楽しみに!)

シリーズ「ふるさと」

その184 培養ステーキ肉

日清食品と東京大学が培養肉の製造に成功したと報道された（2022年3月）。この肉は動物の細胞を組織培養してつくられた「代替肉」である。食べてみると「じわじわ」と肉汁がでて、ジューシーだった「そう

だ。世界的な人口の増加や生活様式の変化で、食肉の消費量は増加する傾向にある。代替肉は家畜を育てる飼料や土地不足も解消されるなどの利点が多く「持続可能な肉」として期待されているようだ。



代替肉には、既に植物由来成分を使った植物肉、昆虫のタンパク質を使った昆虫肉、動物細胞を原料とする培養肉があるようだ。特に培養肉は、動物の肉の細胞を原料と

にする。家畜の命を奪って肉を食べる人間にとって、培養肉は生命を尊重する点では朗報だが、人工の肉をつくってまで食べなければならぬ人間も哀れだな……と、思う。
(庄内平也)

片を折り曲げて重ね、そこに血管をつくっていくとステーキが完成するようだ。ふる里でも巨大なタンクで培養ステーキをつくる時代が近づいているように思う。

珍しい2色咲きのハイビスカス!



美しい芍薬をいただきました



診療所にたくさん花が咲きました!

ホットニュース



先生の著書
窓口にて発売中!



マイナンバーカードでの保険証確認にご協力をお願いいたします!

久しぶりの遠出

矢島 恭一

私は毎年、所属する学会の学術大会(年1回)に必ず出席していました。

ところが2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行のために、遠出をする機会が絶たれてしまいました。

その間に、私自身の体調不良で人生初ともいえる入院生活を余儀なくされ、行動範囲が著しく狭くなりました。

でもこんなことで負けてはいられないと、ようやくコロナ禍が下火になってきた今年春頃から少しずつ出かける機会を作ることになりました。このコラムにも書きましたが、最初は仙台の病院での定期受診に合わせて、一泊旅行を敢行次に宮城県涌谷町への日帰り旅行でした。

自分ひとりでは、自信がなかったので息子に運転を頼み、まさに「カバン持ち」をしてもらったの恐る恐るの遠出でした。

これを機会に、もっと遠くまで行けるのではないかとの感触を得たので、今年浜松で開催予定の学術大会に申し込んでみました。前回参加したのは、確か京都での学会だったと記憶していたので、調べてみると2019年5月、コロナのパンデミックが始まる前でした。

翌年は、結局WEB開催となり、一堂に会するのは京都が最後でした。コロナ禍で進化したのが、デジタル機器を使つての会議です。企業の本社支社間の会議はもちろんのこと、ちよつとした打ち合わせ会や講演会もパソコンを使つて、いとも簡単にできるようになりました。

私の学会もWEB開催の翌年からハイブリッド形式になり、現地での参加でもWEBでの参加でも参加証がもらえ、資格更新の単位として認められるようになったのです。



でも現地に集まるのは、資格更新のためだけではなく、いわゆるロビー外交ができるからだと思ってきました。直接講師の先生や座長に会つて話をするのが次の機会を広げることになります。

私は、数年間学会役員も務めさせてもらったおかげで、全国に知り合いが増え、実は今年も知り合いに会うことを楽しみにして行つたのですが、5年間のブランクは大きく、若い人の参加が増え、特に女性の参加者が多くなつた反面、期待していた知り合いには数人しか会えませんでした。

ところで浜松に行きたいと思つたのは、最近の医療や介護の動向を知るためだけではありませんでした。

浜松は、昔から楽器の街といわれ、YAMAHYA、KAWAI、ROLANDといった世界的ブランドの楽器工場があることで知られています。また学会のメイン会場であるアクトシティホールは、素晴らしいホールであることも知っていたので、ホール詣でをしたいという人生で最後であろう欲張つた願望もあつたのです。

現地に向かう前には、交通の乗り換えや現地で相当歩かなくてはならないとの覚悟で、それなりのトレーニングをしたつもりでしたが、それが最悪の結果となり、両足のアキレス腱に炎症が起き、健康な人が歩くスピードの3倍以上がかかる状態でした。今回も息子の「カバン持ち」のお陰で何とか行つて来られました。

辛かつたけれど、楽しい思い出もありました。浜松は鰻で知られた街です。ホテルの朝食でも、食堂に入つて一番に「鰻ご飯を召し上がりませんか」と訊かれます。もちろんちゃんとした鰻専門店でも美味しいひつまぶしも食べてきました。また浜松は餃子が名物だそうです。40分待つて食べてきました。そして最後にご多分に漏れず「うなぎパイ」をお土産に買ってきました。

こどもたちの

さくびん

もとたて保育園



クルーズ船の楽しい思い出をいただきました!

▶ 友達の推し活に同行
目的のみのとんぼ返りでしたが
とても楽しめました！

▶ お招きいただいた送別会
久しぶりでも盛り上がり
また一つ思い出が増えました

ustagram



秘書
平井 裕美子



職員が撮ったお気に入りをご紹介します★

今月の絵手紙



富山市在住の土田芳男さんより
届いた絵手紙をご紹介します。



これは野菜……？答えは来月号です！

ハネイギサク

カタカナを並び替えて単語を2つ
作ってください。

アタマの体操

脳トレ



編集後記

診療所内はきれいな花たち
で華やかに、心を潤わせ
てくれます。そして、あつと
ないう間に梅の収穫時期と
なりました。もうすでに暑い
日が続くなか、梅ドリンクを
飲めば気分もさっぱりそう
です。
(平井)

発熱・風邪症状（のどの痛み・
鼻水・咳等）がある方は受診す
る前に必ずお電話でご相談くだ
さい。
電話をせずに来所してしまっ
た方は診療所内には入らず、駐
車場から一度お電話していただ
き、当方からの指示に従ってく
ださいますようお願いいたしま
す。

お知らせ

手先が器用なNさんの周りは
すてきな作品に溢れています。
「良ければどうぞ！使ってもら
えると嬉しいから」と満面の笑
み。作品は事業所内で大切に使
わせていただいております！
(堀井)

ほほえみがえし

